

カリキュラム一覧



専門分野別研修 ①乳児保育

* 修了証の交付を受けるためには、すべての研修を受講する必要があります。

No.	テーマ	内容	講師名	日時	会場
1	主体性と意欲を育てる乳児保育とは	“この人がいれば安心”という大人の存在は、園生活への安心感とともに、生涯にわたる良い人間関係づくりの基礎が育まれるといわれています。愛着の形成と自己肯定感の育ちを大切にしたい保育をすすめるためには、日々の生活や遊びの環境をどのようにデザインすればよいのでしょうか。園で大切にしたいことを具体化し、子ども自身が「おもしろい!」「もっとやりたい!」と自己実現できるための乳児保育を「育児担当保育」の実践から学びましょう。	樋口正春氏 保育創造セミナー	7月24日(水) 10:00-16:30	たかつガーデン たかつ全室 (8階)
2	乳児保育の実践と記録	子どもの育ちを丁寧に捉え、実態や育ちを理解する中で、保育課題が明確になってきます。園ではどのような子ども像を挙げられているのでしょうか。子ども主体の乳児保育を実践するためのねらい、生活や遊びの内容、記録、評価など保育の質を高める指導計画について、実践やグループワークを通して学びましょう。	瀧 薫氏 城東よつば こども園 大阪芸術大学 短期大学部	9月5日(木) 10:00-16:30	
3	乳児保育の意義と発達に応じた保育内容	乳児保育は発達特性の理解とともに、一人ひとりの子どもの姿や思いをくみ取り、愛着形成と自己肯定感を育むための受容的、応答的な関わりが大切です。また、保育所保育指針では、3歳未満児の子どもの育ちが非常に重要視され、『乳児の最善の利益』が保障されるための保育者の役割は益々重要になっています。子どもの育ちの過程を共有しながら保育の質を高める乳児期の保育について学びましょう。	阿部和子氏 大阪総合保育大学	11月12日(火) 10:00-16:30	たかつガーデン アジサイ (地下2階)

専門分野別研修 ②幼児教育

* 修了証の交付を受けるためには、すべての研修を受講する必要があります。



No.	テーマ	内容	講師名	日時	会場
1	幼児の遊びと環境 ～子どもと共に豊かなごっこ遊びの発展を～	豊かな遊び環境を作るためには、子どもの興味を知り、やり取りを重ね、大人自身も創造力を柔軟に広げていく必要があります。「こんなんあったらおもしろいやんな!」「明日も続きしよな!」など、自己を十分に発揮しながら、友だちと協同して遊びを創りだす幼児のごっこ遊びの発展について、交流しながら学びあいましょ。	瀧 薫氏 城東よつば こども園 大阪芸術大学 短期大学部	7月5日(金) 13:30-16:30	
2	・遊びを中心とした指導計画と子ども理解に基づいた記録・評価 ・小学校との接続に向けて大切にしたいこと	一人ひとりの子どもの姿を丁寧に捉え、子どもを理解する中で、保育・教育課題が見えてきます。遊びをどう読み解き、展開に向けてどのような援助が必要なのかを考えます。保育現場における根本的なテーマと向き合い、実践記録を基に「援助」と「展開」をひも解きましょう。また、小学校への接続に向け、主体的・対話的で深い学びを目指した日々の保育を振り返り、“接続”で大切にしたいことを確認しましょう。	中橋美穂氏 大阪教育大学	9月3日(火) 10:00-16:30	たかつガーデン たかつ東中 (8階)
3	保育の中の子どもの声 ～仲間と共に生きる力・対話していく力を～	子どもの主体性の育ちが問われている中、保育者は「あなたのこと、もっと分かってほしい」と願い、子どもの声に耳を傾けているでしょうか。子どもは自分の思いや言動を受けとめられることで安心し、主体的に仲間と思いや意見を交わし、共感的な関係を築いていくといわれています。「子どもと対話する保育」の実践について学びましょう。	加藤繁美氏 山梨大学	11月26日(火) 10:00-16:30	大阪府社会 福祉会館501 (5階)
4	主体性を育むための関わりとは ～養護と教育一体の働きかけを～	保育所保育指針等では、これまで以上に子どもの主体性を育むことが重要視されています。主体性を育むためには「しなやかな心」が求められ、主体としての心の育ちが大切です。保育者自身の関わり方、受け止め方を振り返り、子どもの主体性がどのようにして育つのか、そのための保育実践のありかたなど、「主体としての心を育む保育」について、養護と教育の両面からエピソード記録を読み解きます。一人ひとりの育ちの過程に寄り添った実践について学びあいましょ。	大倉得史氏 京都大学	12月14日(土) 13:30-16:30	大阪府社会 福祉会館401 (4階)



専門分野別研修 ③障がい児保育

*** 修了証の交付を受けるためには、すべての研修を受講する必要があります。**

No.	テーマ	内容	講師名	日時	会場
1	仲間と共に育ちあう保育・教育とは	「Aちゃんは虫を探すの得意やんな!」「なんも言わんでも顔見たら分かるねん!」など、一人ひとりがクラスの一人として発揮できる場面がありますか。また、一人ひとりの個性が互いに尊重されているでしょうか。実践報告やグループワークを通じて悩みや気づきを共有し、共生保育の実現に向けての筋道などを確認しましょう。	杉本節子氏 ちやいんどネット 大阪	7月12日(金) 13:30-16:30	たかつガーデン アジサイ (地下2階)
2	一人ひとりの障がいを理解し、適切な支援を学ぶ ～困っている子どもへの支援・指導計画～	保育者の思いとは違う表現をする子を“困った子”と見るのではなく、子どもが“何に困っているのか”に気づくことが支援の第一歩だといわれています。環境、遊び、生活の具体的な手立て、また、保護者支援として、育ちや課題をどのように共有していくかなど、障がいのある子と共に育つ保育・教育につながる支援を学びます。そして、個別支援計画、指導計画が具体的な援助計画につなげるための『ストラテジー・シート』の活用について学びましょう。	伊丹昌一氏 梅花女子大学	8月28日(水) 10:00-16:30	大阪府社会 福祉会館501 (5階)
3	発達が気になる子どもの理解と援助	子どもたちは様々な思いを自分なりの表現方法で伝えてくれます。一方、発達障がいへの理解が高まる中、「〇〇だから…」と特性で見えてしまいがちな状況も見受けられます。子ども自身がどのように世界を感じているのかを子ども目線で捉え、誰もが安心して過ごせる環境や関わりについて、目の前の子どもたちを思い浮かべながら学びあいましょう。	木曾陽子氏 大阪公立大学	9月24日(火) 13:30-16:30	たかつガーデン たかつ東中 (8階)
4	保護者と良い関係を築くために ～発達凸凹キッズの理解を～	子どもの発達には個々のペースがあります。診断名ではなく一人ひとりの発達凸凹の姿に気づき、子どもの求めているサポートを考えることが大切です。また、子どもにとって初めての集団生活が親子共に安心できる場所となるためには、保護者との関わり方の基本を理解することも大切です。より良い支援につなげていけるよう保護者支援について学びましょう。	三輪桃子氏 言語聴覚士	10月25日(金) 13:30-16:30	大阪府社会 福祉会館501 (5階)
5	障がい児保育において、個々の発達を理解し、保護者に対応し、関係機関とつながる手立て	発達障がい、もしくはそう思われる子どもたちの行動の理解と対応について学びます。保育の場で見られる具体例を挙げた上で、子どもと保育者が気持ちを寄せあうことができる手立てをお伝えします。さらに、保護者への具体的な手立てや関係機関との連携についても学びましょう。	野藤弘幸氏 作業療法学博士	11月21日(木) 13:30-16:30	



研修会場に関するお願い

☆各会場への連絡はご遠慮ください。お問い合わせ等は当法人までお願いいたします。TEL 06-4790-2221

☆施設によっては専用駐車場がございません。ある場合でも、主催者側で来場者用の駐車場は確保しておりません。

気象警報発令時及び緊急時における研修等の取り扱いについて

☆一日研修は研修日当日の午前7時の時点、午後の半日研修は午前11時の時点で、「大雨、暴風、暴風雪、洪水、大雪などの気象警報」が大阪府内に発令されている場合、研修を延期いたします。

< 研修の延期については、当法人のホームページでご確認ください。 >

< HP : <https://www.childnet.or.jp/> >